

ラピオビルの経営方針について

ラピオビル3階に出店している安井家具株式会社が、本年12月末をもってファニチャードーム小牧店を閉店するという申し入れを受け、以下の方針に基づいて、経営に取り組むこととした。

記

1. ラピオビル再構築にあたっての施設コンセプトを明確化する必要性について

ラピオビルは、小牧市の市街地再開発事業により魅力ある商業と市民の集いの場として平成7年9月にオープンし、これまでに、テナントの入れ替えや公共施設の導入などを行い経営してきた。

しかしながら、各方面の方々から、今日の時代においては、集客のためにはメインのターゲットを明らかにし、他の商業ビルとの差別化を図るべきとの意見を多くいただいていたところである。このため、再構築にあたっては、施設コンセプトを明確にしたうえで取り組むこととする。

2. ラピオビルの施設コンセプトについて

ラピオビル4階のえほん図書館や子育て広場は、こどもたちがのびのびと成長できる充実した子育て施設として、平成20年7月に公共施設として整備された。

えほん図書館は、魅力的で楽しいこども向けの絵本がたくさんあり、森のような雰囲気の中でゆったりと本に親しめる施設であり、親が子に本を読んだり、おはなしのへやではボランティアなどによる絵本の読み聞かせや手遊びなどが行われている。

また、子育て広場は、おもちゃ・大型遊具などがあり、親子で一緒に遊べて、親同士の交流の場としても利用できる施設であり、保育士資格を持った職員に子育てに関する相談もできる。

これらの施設には、平休日を問わず多くの親子連れが訪れ、親と子、大人とこどもが心でつながり、人の温かさを感じる笑顔あふれる空間が創出されており、ラピオの大きな強みである。

このため、再構築にあたっては、この強みを活かすとともに、ブランド化していくことを基本的な考えとし、ラピオビルの施設コンセプトを「こども・子育て」とするものである。

3. 当面の取組みについて

現在、一部空き床である4階に加え、3階について、即刻、ラピオビルの施設コンセプトを踏まえ、新たなテナント誘致を開始する。一方、空き床となる市が所有する床については、施設コンセプトを踏まえた公共施設導入の検討を、市に要請する。